



Sustainable
Value Plan
2030

ヘルスケアにおける予防・診断・
治療プロセスを通じて健康的な社会を作る

健康

社会課題

SDGsでは、「すべての人が、適切な健康増進、予防、治療、機能回復に関するサービスを、支払い可能な費用で受けられる=ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)」の達成を掲げています。UHCを達成するためには、誰もが保健医療サービスを身近に受けられることができる医療インフラの整備、医療の質向上を推進するとともに、疾病の予防や早期発見を重視する、健康を第一に考える社会を作っていく必要があります。



富士フィルム
グループが
SVP2030で
目指すもの

(重点課題)

1. アンメットメディカルニーズへの対応
2. 医療サービスへのアクセス向上
3. 疾病の早期発見への貢献
4. 健康増進、美への貢献
5. 健康経営の推進

「健康」は人々にとって最も関心が高く、重要なテーマですが、アンメットメディカルニーズだけでなく、医療の格差、医師不足、医師負担の増加、医療費の高騰など、多くの課題があります。また、事業活動を支える従業員の健康を守るのも、企業として重大な責務です。富士フィルムグループは、創業間もない1936年にレントゲンフィルムからスタート、現在はトータルヘルスカンパニーを目指し「予防・診断・治療」領域まで幅広く事業を手がけています。当社グループの持つ技術、製品、サービスを結集して様々な課題を解決し、さらなる医療の質の向上、人々の健康維持増進に貢献していきます。

2018年度の活動ポイント

OUTPUT

OUTCOME

再生医療製品の
開発・普及



新たな治療方法の
普及への貢献

医療ITへの
AI技術の活用



医療の質向上、
医師の負担軽減

健康経営宣言の制定



従業員の健康、
活力の維持

